

## 第56回 鹿児島市都市計画審議会 議事概要

### 1 日時等

平成27年10月16日(金) 14時～16時15分  
市役所東別館9階 特別中会議室

### 2 議案等

- 第1号 産業廃棄物処理施設の用途に供する特殊建築物の敷地の位置について [諮問]  
第2号 鹿児島都市計画道路の変更について(3・3・74号 磯街道線) [県決定、諮問]  
第3号 鹿児島都市計画第一種市街地再開発事業の決定について [市決定、付議]  
(中央町19・20番街区地区)  
第4号 鹿児島都市計画高度利用地区の変更について [市決定、付議]  
(中央町19・20番街区地区)  
第5号 鹿児島都市計画通路の変更について(2号 一番街通り) [市決定、付議]  
その他 鹿児島市まち・ひと・しごと創生「人口ビジョン(案)及び総合戦略(案)」について

### 3 出席委員(17名)

- 第1号委員 学識経験のある者  
宮廻委員、木方委員、笹川委員、米永委員、松下委員、三嶽委員、西委員  
第2号委員 市議会の議員  
堀委員、瀬戸山委員  
第3号委員 関係行政機関の職員  
川俣委員、待鳥委員  
第4号委員 鹿児島県の職員  
水迫委員、満留委員(代理)  
第5号委員 その他市長が必要と認める者  
川野委員、有山委員、三原委員、宮竹委員

### 4 欠席委員(3名)

- 第1号委員 学識経験のある者  
内田委員、玉川委員、寺岡委員

### 5 出席職員

- (1) 議案第1号 池畑建築部長、岩切建築指導課長  
(2) 議案第2号 水元道路部長、北野街路整備課長、新川計画係長  
(3) 議案第3号～議案第5号 鮫島都市計画部長、柚木市街地まちづくり推進課長、  
上村市街地整備係長  
(4) その他 室田地方創生推進室主幹

### 6 審議結果

議案第1号及び議案第2号について、「案に異議なし」の答申を受けました。  
議案第3号、議案第4号及び議案第5号について、意見を付して「案を認める」との答申を受けました。

〔付帯意見〕

土地所有者、借地権者、周辺住民等の理解を得るよう努めて事業を進められたい。

## 7 質疑等（○委員 ●当局）

第1号 ○騒音と振動について規定があると思うが、基準値を下回っているのか。

●機械を動かしたときの予測値が基準値を下回っている。

○破碎施設の排水関係で周辺への影響はないのか。

●今回の工作物を設置することで排水が発生することはない。

第2号 ○都市計画変更前と変更後の事業費は出ているのか。

●本年3月に行われたルート検討委員会では、都市計画変更前の海浜ルートについては約360億円～410億円、変更後の山岳ルートについては約340億円～390億円という経済比較をされているが、最終的な事業費は今後、精査される。

○平成14年においては海浜ルートが望ましいとされていたのに対して、今回、山岳ルートが妥当という判断に至った経緯を聞きたい。

●平成14年においては海浜ルートよりも山岳ルートの方が事業費が高いと判断されたが、本年3月に開催された第2回の鹿児島北バイパスルート検討委員会では山岳ルートの方が経済的に優位であると判断された。

第3号～第5号

○事業に対する反対の意見は実質何名か。

●7名である。

○国、県及び市の補助金の割合はどうなっているか。

●正確な負担割合は決まっていないが、総事業費の約3割が国・県・市の補助金となる見込みである。

○地権者や事業者への相応の補償はどうなっているか。

●都市計画決定後に、土地評価及び建物評価を行い、評価額に基づき、権利変換を希望される方は再開発ビルの床を取得いただき、転出を希望される方には評価額を支払い、転出いただくという制度になっている。

○事業の効果について、事業実施後に調査を行うのか。

●社会資本整備総合交付金や中心市街地活性化基本計画の中で、空き店舗の率や歩行者通行量、入り込み観光客数の変化を事後評価として調査することとなっている。

○人口減少に歯止めをかけ、経済を活性化させるためには、魅力あるまちづくりが必要であり、中央駅周辺においては若い人達の足が向くような雰囲気が必要である。

○都市計画はハード面での施策であるが、生きたにぎわいを創出するには、合わせてソフト面での施策も必要である。

## 8 議事録署名委員

木方委員、三嶽委員